4889
特44
571
家庭をしへぐさ

特44
571

わるさの魚

わづかのこらへ
むかし、あるところに、ひとりのしやうぢきな男が、ありました。つねに
のやまにいでて、鳥やはのをとり、川や沼に
いでて、魚をうをとらをたててゐ
ました。かるにいなにゆえか、ちかごろは、
れふがはづれて、鳥も、魚も、さらにとれ
ませぬで、三どのめしも、たべかねる
ほどになりました。これではならぬ、
かばふがへでも せんければ
ならぬと おもひましたが、

なにせよ、ひとたび、ちんじゅの神に、いのりてみやうと、おもひまして、ちんじゅのやしろに、一夜、こもりました。

いたしますと、その夜のゆめに、ちんじゅの神、あらはれたまひ、「なんぢは、しやうぢきでちるゆゑ、ねがひのとほりふえをさづけべし、しかしながら、まづ、こらへにこらへて、いままでのかげふを はげむべし」とおつげがありました。

それゆゑ、あくる日より、おこたらず、かげふにでかけましたが、やはりなにもいひものがありませぬ。もはや、あすたぶるものも なくなり、いよいよかげふがへをするほかなしとかごをて、もう、こんやからでまいとおもひましたが、いやいや、ここがこらへどころであらうと、きをとりなほして、鳥網をもちて坂の上へまゐりました。

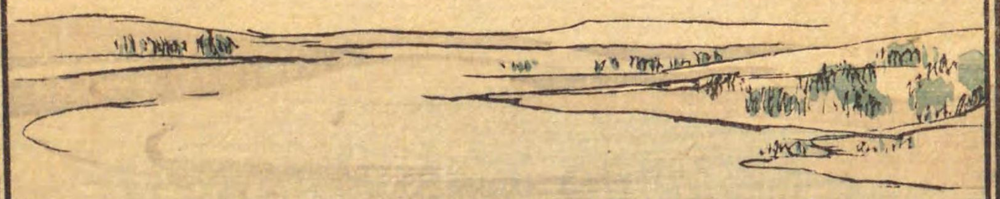
さて鳥のくるのをまちてゐましたが、一羽もまゐりませぬ、小鴨の一

羽もまゐりませぬ。そのうちに、だんだんと夜がふけてまゐります。夜がふけてまゐるにしたがひ、さむさが、みにしみわたります。もはや、これぎり、やめにして、かへらうかと、おもひましたが、いやいや、ここがとらへどころであらうと、また、きをとりなほして、ふみとまりました。

そのうち、すこしたつと、はるかのそらに、あまたの雁が、カリカリ、カリカリと、なきながら、どんできました。この男は、きたりといひながら、網をもちかまへてゐますと、ちやうど、ま上へきました。ここぞと、網をかぶせますと、パサパサ、パサパサと、みな網の中へはひりました。

網にはひりた雁が、あまりにたほそ、どりだてがなりませぬ。それゆゑ、ひとつとりてはこしにはさみ、ひとつとりてはこしにはさみ、しま

ひには、こーのまはりは、すきもなくなりまーた。
これから、どうーやうと、うろたへてゐますと、網
から雁が二羽、とびだーしまーたゆゑ、たゞろいて、ひき
とらへやうとーしますと、二羽の雁の足を、りやう
手でつかまへまーた。
うのとき、こーにはさまれた雁どもも、みな、なまごろー
でありまーたゆゑ、一どにパタパタとはばたきーて、この
男も一ーよに、たかくそらにとびあがりまーた。
この男は、これはこれはと、おもふうちに、だんだん、
たかくあがります。かぎりもなくたかくあがります。



これはしたり、どうしやうと　わるふうちに、きがつき、りやう手に
もちた　雁を　はなしました。
そのうち、こゝにはさまれた雁どもも、つばさがよわり、だんだんと、下へ　わ
ちてまゐります。　これはどこへおつるかと、しきりに、あぶなく　わ
るふうちに、坂の下の川のなかへ、ざんぶと　わちました。けれども、
雁がうきとなりて、ふかくは　しづみませぬ。
そこで、この男は、ふかくしづまぬをさいはひ、りやうの手をかいに
して、川ぎしのかたへ、こぎつきました。そのとき、こや、もものあたりへ、
なにかゴツゴツさはるやうでありますゆゑ、さぐりてみますと、鯉や、
ぼらなどが、たくさんに、はかまのなかにはひりてゐました。

それから、きーにとりつき、さきにすがりて、をかへ、あがらうとするひようーに、なにか、むくむくたものが、手にさはりました。これは、おほきな鬼のあと足を二ほんつかまへましたのであります。鬼は、ーきりにげやうとして、まへ足にて、つちをかきたてます。そのいきほひで、たやすくをかへあがることができました。

さて、ぶどにをかへあがりてみますと、

兎のかきたてたあとに、どねんどよのさきが、みえます。これは、うまいと、いいながら、まづ二ひきの兎を、くさのつるで、しばりたき、どねんどよをほりますと、たちまちに、あまたのどねんどよをほりとりました。この男は、わづかのまに、あまたの雁、あまたの魚、たまげに、二ひきの兎と、たくさんのどねんどよとをとりて、たほきによるび、いへにかへりて、これをうりまたれば、あまたのかねになりました。この男、これこそ、神から、さづかりたふこであらうと たびたび、これをもとでとして、なほもかげふをはげみまたゆゑこののちは、まことにゆうふこに、よをたくりまたとまうします。みなさま、もしもこの男が、あのとき、さむいといひて、かへりてしまひまたならば、このふこは、さづからなかつたでありませう、してみれば、このふこは、ごこわづかのこらへから、しやうだのでありませう。なんと、こらへといふものは、わづかでも、かりのうのあるものでは ありませぬか。 わづかのこらへ、これでをはりめでたしめでたし。

明治廿四年五月十七日印刷
同　年五月十八日發行
版權所有
著者　大失透　東京市下谷區金杉村百十五番地
發行者　森本里　東京市日本橋區新榎町十四番地
印刷者　木村德太郎　東京市神田區旅籠町一丁目七番地
版權登錄

特44-571
1200500890369